Panasonic
ideas for life

2012

特許調査支援サービス PatentSQUARE

ID限定型サービス

「知財部門担当者だけで利用したい」「サブシステムとして少人数で使いたい」「小規模で情報共有したい」「SDIや概念検索などの一部機能を2～3人で利用したい」・・・こんな場合にお勧めなのが、PatentSQUARE ID限定型サービスです。

	サービスA	サービスB	サービスC
月額利用料/1ID※1	26,250円（税抜：25,000円）	31,500円（税抜：30,000円）	47,250円（税抜：45,000円）
日本/基本サービス	●	●	●
米国/基本サービス	●	●	●
欧州/基本サービス	●	●	●
PCT/基本サービス	●	●	●
中国/基本サービス	―	―	●
世界特許（DOCDB）/基本サービス	―	●	●
ウォッチ（日本）	―	●	●
スクリーニング※2	●	●	●
マップ	●	●	●
Family/LegalStatus	●	●	●
英日翻訳	―	―	●
日本/意匠サービス	―	●	●

※1 新規契約時に、各サービスの月額利用料1ヶ月分が初期登録料として必要です。初期登録料には、グローバルIPアドレス設定、ユーザID/パスワード発行料が含まれています。契約期間は12ヶ月となります。
※2 中国は対象外となります。
備考 ※お客様とデータセンタ間は、インターネット/SSL接続となります。
※お客様によるユーザIDの変更はできません。ただし、パスワードについては変更可能です。

PatentSQUARE クライアント動作環境

OS	Microsoft Windows XP SP3以上 Microsoft Windows Vista Microsoft Windows 7 Microsoft Windows 8（2013年 対応予定）
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 6.0 SP3以上 Microsoft Internet Explorer 7.0 Microsoft Internet Explorer 8.0 Microsoft Internet Explorer 9.0
ハードウェア	Intel Pentium Ⅳ 500MHz以上 RAM 256MB以上 ディスプレイ1024×768ドット以上

※一部機能を利用する場合は、Java Plug-in（JRE 6 以上）のインストールが必要です。

⚠安全に関するご注意

●ご使用の際は、取扱説明書、工事説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してご使用ください。

商品・システム情報を載せたホームページです。ぜひ一度ご覧ください。 http://panasonic.biz/it/sol/patent/

パナソニックグループは環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます 詳しくはホームページで panasonic.co.jp/eco

省エネを徹底的に追求した製品をお客様にお届けし、商品使用時のCO_2排出量削減を目指します。

省資源 新しい資源の使用量を減らし、使用済みの製品などから回収した再生資源を使用した商品を作り、資源循環を推進します。

パナソニック製品は、特定の環境負荷物質※の使用を規制するRoHS指令にグローバルで準拠しています。
※鉛・カドミウム・水銀・六価クロム・特定臭素系難燃剤

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記にご相談ください。

パナソニック
ソリューションテクノロジー株式会社
お問い合わせ受付窓口

受付後、当社担当よりご連絡いたします。
ナビダイヤル 0570-087870 受付：9時～17時30分（土・日・祝・当社指定休業日除く）
ホームページからのお問い合わせは http://panasonic.co.jp/snc/pstc/contact/

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

●お問い合わせは…

パナソニック
ソリューションテクノロジー株式会社
〒105-0013
東京都港区浜松町1丁目17番14号 浜松町ビル

このカタログの内容についてのお問い合わせは、左記にご相談ください。
または当社におたずねください。

このカタログの記載内容は
2012年11月現在のものです。

PST-1211JC38A

●製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。●製品の定格およびデザインは予告なく変更する場合があります。
●本カタログ掲載商品の価格には、配送・設置調整費、工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。●実際の製品には、ご使用上の注意を表示しているものがあります。
●本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、™、®マークは基本的に明記していません。

専門知識の融合によるグローバル時代の知財戦略をリード

知的財産の権利保護の時代から、資産活用の時代へと知財戦略は変遷をとげ、
今や生産・開発拠点の海外進出に伴い、グローバルな視点に基いた戦略構築・リスク管理が求められています。
PatentSQUAREは、知財部門と技術部門のナレッジが融合する知財環境を提供し、世界規模での知財力強化をサポートします。

Global ■ グローバル環境に対応した豊富なコンテンツとインターフェース

Quality ■ 高品質で豊富なコンテンツ

- 専門業者との提携による高品位な情報提供
- 知財戦略立案・評価に適した加工データの提供

現場技術者に使い易いユーザインターフェース

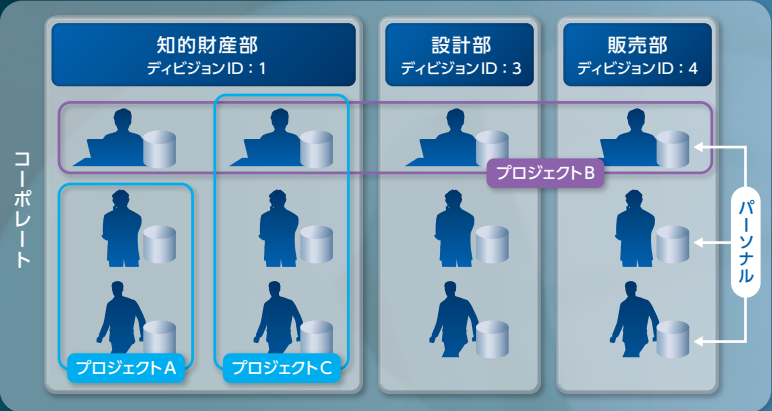
- 視認性を重視したわかり易い操作インターフェースにより、マニュアルレスの調査が可能
- ユーザの習熟レベルに応じた画面を提供することで、調査の初心者からベテランまでのニーズを満たすインターフェースを提供

専門家（サーチャ）にも適した詳細調査・分析

- 専門家が必要とする複雑な論理式作成や近傍検索などの機能を提供し、高度な調査環境を実現
- 高機能ハイライトや複数文献同時表示、速度調節可能な自動図面送りなど、専門家の公報文献スクリーニングを強力にサポート

Knowledge ■ 知財部門がもつ調査ノウハウと技術部門の知識の融合

- 互いの専門スキルを活用したスムーズな連携、精度の高い調査情報の共有をワークスペースで実現

※異なる組織のメンバーを複数プロジェクトの構成要員として登録可能

Security ■ 固有サーバ（コーポレート型）

- お客様ごとに固有サーバを準備し、高いセキュリティを確保
- 標準仕様であるデータセンタ内の設置の他、お客様構内の設置も可能
- カスタマイズなどのご要望にも柔軟に対応可能

※固有サーバをお客様構内に設置する場合は、VPN回線が必要です。

※PatentSQUAREでは、同時アクセス方式を採用しており、登録頂けるユーザID数やログイン数に特に制限はありません。

Support ■ 専用サポートによる対応

- Webサポートはご契約者であればどなたでもご利用することができます
- 英語によるWebサポートを2013年1月から開始

検索画面

かんたん検索

- 誰にでも使えるシンプルインターフェース
- ユーザ毎に用途に応じた検索項目設定

プロフェッショナル検索

- 経過情報等の充実した検索項目
- 複雑な論理式作成機能装備

文献番号検索

- 最大500件の文献番号リスト貼付可
- 一覧表を経由せず直接公報表示

概念検索

- 思いついた自然な文章で公報検索
- 特定公報の類似特許の抽出

一覧表示画面

- 一覧表示項目は自由に設定
- 最大2万件の大量文献表示
- 代表図付一覧で一次スクリーニングに最適
- 簡易分析機能で頻出分類をランキング

書誌一覧

抄録一覧

簡易分析　**経過情報**

公報表示画面

かんたん公報表示

- 誰にでも使えるシンプルインターフェース
- 図面のサムネイル表示

プロフェッショナル公報表示

- 自動図面送り／ページ高速化対応
- 全請求項テキスト出力可
- 印刷オプションが豊富

スクリーニング表示

- しおり機能でスクリーニング業務効率化
- ユーザ毎のフリーレイアウト
- 単語検索23色カラーハイライト
- ヒットバーで単語分布が一目瞭然

マトリクス

サイテイション

SDI

- 多彩な検索項目による新着公報調査

ウォッチ

- 中間コード等詳細項目での経過調査

マップ

- 検索結果をワンタッチでマップ化

検索式　SDI　調査WF　保存一覧　ウォッチ　評価情報　マップ

ワークスペース　知財担当者と研究者・技術者の調査ノウハウ・ナレッジ共有空間

調査過程で作成した情報をナレッジとして調査テーマごとに登録し、メンバー間で共有できます。グループメンバーでの共有作業やナレッジの再活用で調査の効率化が図れます。

<共有可能な情報>

- 検索式
- SDI情報
- メール転送情報
- 調査ワークフロー情報
- 一覧画面
- ウォッチ情報
- 評価情報
- マップ情報

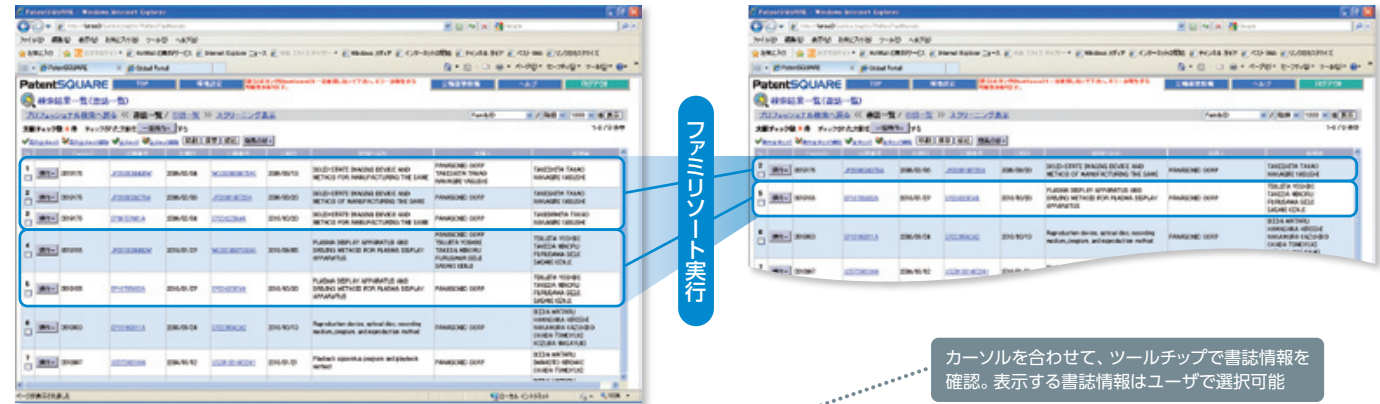
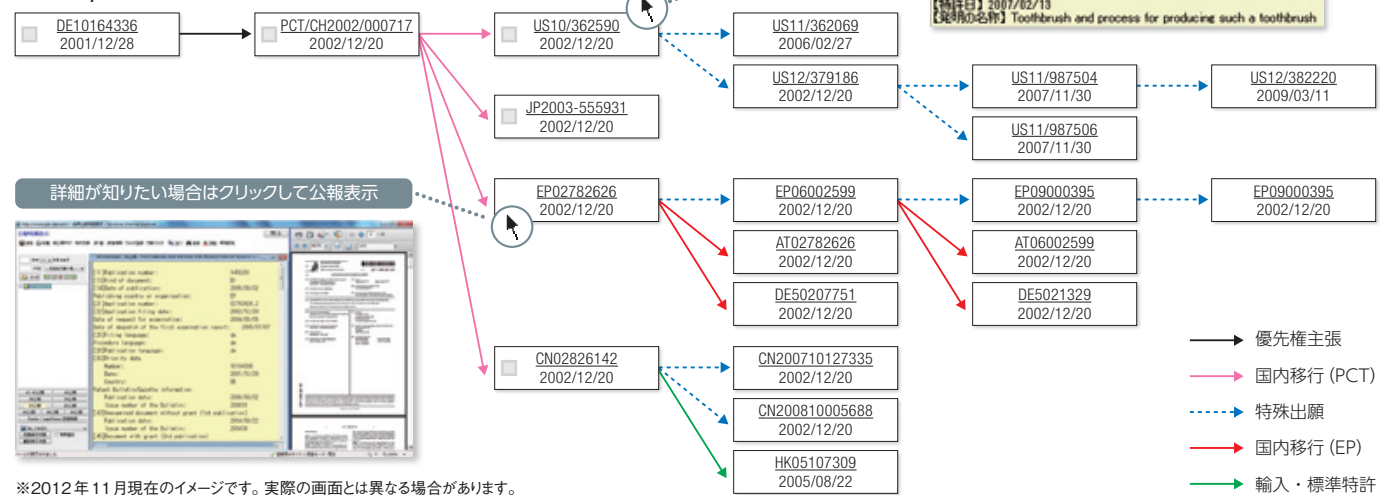
評価登録／分類選択

評価情報一覧

PatentSQUARE

Family情報

Family情報は、DOCDBに加え各国コンテンツの情報を使用することにより高品質化を実現しました。世界特許一覧表示では、この情報を使用したFamily単位集約表示機能により、世界特許の調査・解析を簡単に行なえる環境を提供します。また、Family全体は、Familyマップ機能を利用して、優先権主張、国内移行、特殊出願の関係を俯瞰して視ることができます (2013年5月サービス開始予定)。

■Familyソート

※2012年11月現在のイメージです。実際の画面とは異なる場合があります。

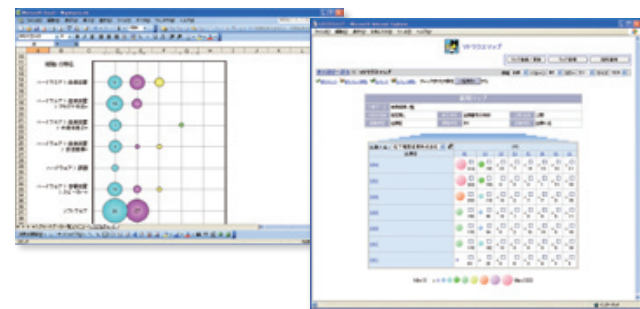
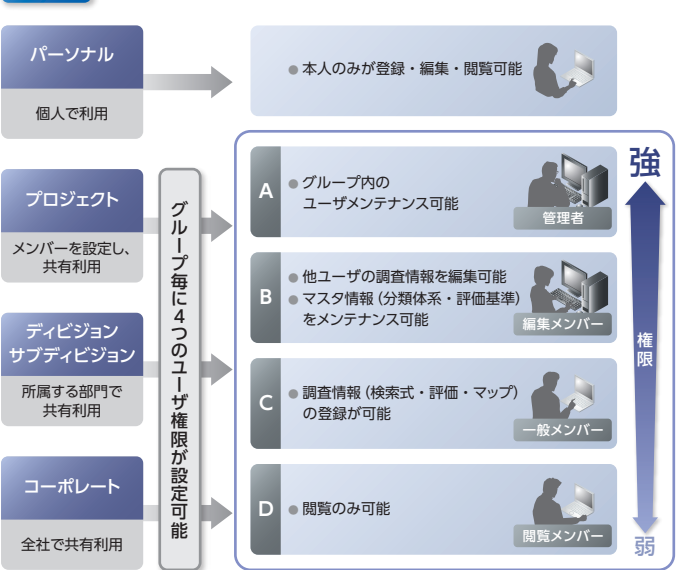
評価情報

文献ごとに複数分類、評価、コメント、フリー項目 (最大15個) などの情報を付与することで、調査結果を体系化しマップなどに活用できます。また、コーポレート、ディビジョン、プロジェクトなど5段階のセキュリティレベルを設定し、管理できます。

特長1 ユーザ独自の評価DBを構築する評価情報機能

- メモ：コメント・技術のポイント、フリー項目 (最大15項目)
- 評価ランク：評価ランク軸、評価ランク (最大10ランク)
- 分類：ツリー上の体系が構築可能

特長2 調査の深堀りを実現する評価情報再利用

- 評価情報検索：書誌項目と区別せず検索・演算可能
- 評価情報表示：書誌/抄録一覧でも書誌と同時に表示
- 評価情報分析：評価結果をマップにより可視化

特長3 不要な情報開示を防ぐセキュリティレベル

中国特許検索サービス

1985年以降発行分全件を蓄積した中国特許検索サービスです。中国特許を容易に調査できる豊富な支援機能を提供します。

検索支援 (中・英・日による検索)

- 中国語キーワード、英語キーワードによる書誌・全文検索
- 技術用語の日・英・中対比表示
- 中国語検索結果と英語検索結果の集合間演算
- 中・英対比表示の出願人検索支援辞書
- 法律状態や有効・無効検索
- DOCDBのECLAや最新IPC8版による検索

読解支援 (中・英・日による表示)

- 中国語と英語対比表示
- 中日オンライン機械翻訳と中国語と日本語対比表示
- 英日オンライン機械翻訳と英語と日本語対比表示
- 関連Family外国文献公報表示検索

英語GUI

検索・表示項目、ポップアップメッセージ、ヘルプを英語化した英語インターフェースです。海外拠点のユーザにも利用範囲が拡大でき、よりグローバルな特許調査環境の構築が可能です。

スクリーニング

カラーハイライトおよび文献再読込みスピードの高速化を実現し、スクリーニングがさらに進化しました。多彩な機能を活用した調査状態は保存することができ、調査を中断した時点からの再開も容易に行えます。

特長1 ユーザが自由に選択可能な画面レイアウト

選択可能な表示内容

- 公報テキスト (全文)
- 公報テキスト (項目別)
- 経過情報
- LegalStatus情報
- 公報書誌
- 要約
- 請求項
- 代表図
- 全図
- Family情報
- 評価情報 等

特長2 ハイライトした用語の記載箇所、頻度、密度を迅速に判断できるヒットバー

主な機能

- 画面レイアウトカスタマイズ
- 複数ワードカラーハイライト
- 指定ワード検索・ジャンプ
- ヒットバー (指定ワード分布) 表示
- ハイライト・レイアウト共有
- しおりメモ
- サブ画面表示
- 自動図面送りスピード調整
- 状態保存

特長3 再ログイン後も前回の状態から調査の再開が可能

幅広いユーザ層の検索・閲覧・分析・評価を支援する機能・コンテンツ一覧

主要機能一覧

● … 標準
▲ … オプション

区分	機能	詳細	内容	JP	US	EP	PCT	CN	世界	JP意匠	A	B	C
				コーポレート							ID限定型		
表示画面一覧	検索画面	かんたん検索	シンプルな画面構成として、検索項目の選択をオリジナル・プルダウンの2つのモードを用意し、簡易操作でスピーディな検索が可能です。	●	●					●	●※1	●※1	●※1
		プロフェッショナル検索	集合間演算合わせて最大999式、近接演算や、外部作成した検索式データのコピー&ペーストを可能とし、複雑な検索式の作成、詳細な特許調査に最適です。	●	●	●	●	●	●		●	●	●
		概念検索 ― 日本	思いついた文章や単語、指定した文献から関連性の高い文献を検索してランキング表示します。類似公報をワンクリックでランキング表示する「類似文書検索」機能も備えています。	●							●	●	●
		番号検索	さまざまな番号表記に対応し、番号リストなどから公報の一括取得ができます。	●	●						●※1	●※1	●※1
	表示画面	書誌一覧	最大2万件の文献を一覧表示し、書誌情報を一括閲覧するのに最適です。また、選択した表示項目は情報共有も可能です。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		抄録一覧	最大2万件の文献の書誌・要約、代表図等を一覧表示し、キーワードのハイライト機能も備わっているため、一次スクリーニングに最適です。	●	●	●	●	●	●		●	●	●
		経過情報 ― 日本	整理標準化データに基いた経過情報が閲覧できます。	●							●	●	●
		意匠図面 ― 日本	複数文献の図面、文献の斜視図+六面図、本意匠と関連意匠図面の一覧表示が可能です。							●		●	●
	公報表示	かんたん公報表示	テキストと図面が分かれてるブラウザを利用したスタンダードな画面です。テキスト中のハイパーリンクから図面や文献を表示するほか、全図や紙公報も選択表示できます。	●	●	●			●	●	●※2	●※2	●※2
		プロフェッショナル公報表示	Java Plug-inを利用した高機能版で、大量内容文献の内容確認などで効果を発揮します。	●	●	●	●	●	●		●	●	●
		スクリーニング	画面レイアウトの変更、複数色ハイライト、ヒットバー、しおりなどの多彩な機能を装備し、公報閲覧がさらに効率化します。	▲	▲	▲	▲		▲		●	●	●※3
機能一覧	評価情報		文献毎に独自分類や評価、コメント、フリー項目(最大15項目)等の情報を付与することができ、検索の絞込み条件やマップ分析に活用できます。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ダウンロード・印刷	書誌一覧ダウンロード	CSV・TSV・エクセルなどの形式で、最大10万件のダウンロードが可能です。書誌情報のほか、請求項、要約、代表図、公報URLも出力することができ、二次利用に最適です。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		抄録PDFダウンロード	1件又は3件毎に文献を1ページにレイアウトしてダウンロードすることができます。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		紙公報PDF ダウンロード・印刷	公開・登録公報など用途に合わせた公報をダウンロード・印刷が可能です。また、公報PDF印刷は、ページ指定の印刷や、文献間を区分けする差込印刷も可能です。	●	●	●	●	●	●		●	●	●
	簡易分析		検索結果の一覧表から、IPC/ECLA/出願人・権利者等について集計ランキング表示します。また、集計結果から各分類コードの詳細情報も参照できます。	●	●	●	●	●	●		●	●	●
	SDI	スタンダード	新着情報の登録時にあらかじめ設定した条件式にヒットした文献一覧表のURLをメール配信します。二次配信も可能です。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		ワークフロー	メール配信された一覧表をワークフローとして回覧することが可能です。	▲	▲								
	ウォッチ	日本	出願状態の変更や、経過情報の追加、Family構成の変更が発生した際にメールで通知します。TOP画面から監視状況を把握することも可能です。	▲								●	●
		外国	Family/LegalStatus等を利用した外国ウォッチ機能です。FamilyやLegalStatusの変更が発生した際にメールで通知します。		▲	▲	▲	▲	▲				
	マップ	Family	優先権主張/国内移行/原出願の各情報をもとにマップ化し、文献の対応外国・原出願・後続出願状況を容易に判断ができます。	▲	▲	▲	▲	▲	▲		●	●	●
		サイテイション	対象特許指定により、引例特許および被引例特許、分割および変更系図を複数世代にわたり参照できます。基本特許や関連特許の抽出、引用種別の判別、詳細内容の把握が可能です。	▲	▲	▲	▲		▲		●※1	●※1	●※1
		マトリクス	書誌項目や評価情報を軸に、一覧表から直接マップを作成し、検索結果の傾向を二次元的に表示します。軸や範囲の切り替えで、さらに絞込み可能です。	▲	▲	▲	▲		▲		●※3	●※3	●※3
		ポートフォリオ	出願件数の推移から、他社の技術傾向や技術分野における市場動向などが把握できます。	▲	▲						●※1	●※1	●※1
		パテントマップEXZ、PAT-LIST連携	パテントマップEXZならびにPAT-LISTと連携しています。項目をダウンロードした際に紐付け自動処理し、シームレスな利用ができます。 ※別途、パテントマップEXZ(インパテック株式会社)、PAT-LIST(株式会社レイテック)が必要	▲				▲※4	▲※4		●※5、6	●※5、6	●※5、6
	1966～1982年までの遡及公報PDF		1966年以降の国内遡及公報PDFが1件ずつ閲覧できます。	▲									
	PCT日本語公報+日本公報全文テキスト串刺検索		PCT日本語公報と日本公報を一括検索することで、国内移行前の文献情報をいち早く知ることが可能です。				●				●	●	●
	DOCDB(書誌・要約)+各国公報全文テキスト串刺検索		DOCDB(書誌・要約)情報と、各国公報の全文テキスト(英語表記の全文テキストに限る)の串刺検索が可能です。						●※7			●※8	●※8
	翻訳データ	日本語検索	外国データを対象にした、日本語翻訳データ(発明の名称+要約の翻訳)の検索・一覧表示が可能です。翻訳された日本語データはダウンロードも可能です。		▲	▲	▲	▲	▲				●
		英日・中日翻訳	公報明細画面から全文を対象にリアルタイムで翻訳処理を行い、翻訳データを表示します。また、ユーザが翻訳辞書を選択することで、翻訳精度が向上します。 ※中日翻訳は中国のみが対象。		▲	▲	▲	▲	▲				●
	Family/LegalStatus		Family/LegalStatusが検索できます。Family番号や、Family有無での検索も可能です。さらに、一覧画面でのFamily表示、一括ダウンロード、番号リンクによる公報表示も可能です。	▲	▲	▲	▲	▲	▲		●	●	●
その他表示・登録画面	英語GUI		検索・表示項目、ポップアップメッセージ、ヘルプを英語化した英語インターフェースです。海外拠点のユーザにも利用範囲を拡大でき、よりグローバルな特許調査環境を構築します。		▲				▲				
	戦略特許管理		戦略シートで他社+自社、国内+海外特許情報を一元管理し、特許戦略の立案・推進の判断材料として有効活用します。PatentSQUAREでの調査情報に加え、他システムでの調査情報や自社未公開データやアイディアなども登録できます。また、ユーザ権限設定により、組織的な情報管理も可能です。	▲	▲	▲	▲	▲	▲				
	未公開データ		未公開明細書と公報を一括管理することができます。また、未公開明細書が公開された場合、書誌情報を自動リンク致します。	▲									

※1 日本と米国のみが対象となります。※2 サービスAとBの場合、PCTは対象外、サービスCの場合、PCTと中国が対象外となります。※3 中国は対象外となります。※4 連携は2012年末頃予定です。※5 パテントマップEXZは日本、中国、世界に対応、PAT-LISTは日本のみ対応となります。 ※6 パテントマップEXZの中国、世界対応は2012年末頃予定です。 ※7 各国公報全文テキストの串刺検索を実施する場合、各国公報の契約が必要となります。 ※8 串刺検索する公報は、サービスBの場合、米国、欧州(英語公報または英語翻訳に限る)、PCT(英語公報または英語翻訳に限る)、サービスCの場合、サービスBの対象に加えて、中国(英語翻訳)が対象となります。 備考：Familyマップは2013年5月サービス開始予定です。

コンテンツ一覧

蓄積データ		収録範囲
日本 特許/実用新案	書誌・要約　紙公報PDF 代表図　有効・無効情報	1983～ 公開公報 1983～ 公告・登録公報 ※1966年～1982年の遡及PDF公報はオプション
	全文テキスト	1983～ 公開公報 1983～ 公告・登録公報
	全図	1993～ 公開公報 1994～ 公告・登録公報
日本 整理標準化データ		1966～ ※発行データを全件蓄積
日本意匠	書誌 全図	1988～ 登録公報 2000～ 協議不成立意匠出願公報
米国特許	書誌・要約　紙公報PDF　英日翻訳要約 代表図　和文抄録	2001～ 公開公報 1976～ 登録公報
	全文テキスト	2001～ 公開公報 1976～ 登録公報
	全図	2001～ 公開公報 1976～ 登録公報
欧州特許	書誌・要約　紙公報PDF　英日翻訳要約 代表図　和文抄録	1986～ 公開公報 1986～ 登録公報
	全文テキスト	1986～ 公開公報 1986～ 登録公報 ※独英翻訳・仏英翻訳全文テキストは2013年にサービス拡充予定
PCT	書誌・要約　代表図　紙公報PDF　英日翻訳要約	1986～ 国際公開公報
	全文テキスト	1986～ 英語表記 2007～ 日本語表記 ※独英翻訳・仏英翻訳全文テキストは2013年にサービス拡充予定
中国 特許/実用新案	書誌・要約　紙公報PDF　有効・無効情報 代表図　英日翻訳要約	1985～ 公開公報 1985～ 公告公報(公告、審定、授権公告)
	全文テキスト	1985～ 公開公報 1985～ 公告公報(公告、審定、授権公告) ※全文テキストは中国語、中英翻訳テキストを蓄積
世界(DOCDB)	書誌・要約	※約90ヵ国(2012年6月改訂DOCDB公報番号仕様マニュアルより)を蓄積 ※収録年代、公報タイプは各国毎によって相違

コーポレート型サービスの同時アクセス数について

● PatentSQUAREにおける同時アクセス数とは、お客様専用サーバと共有サーバの間で同時に通信可能な数です。

● 「同時アクセス」では、システムへ「ログイン」した数(「同時ログイン数」)ではなく、固有サーバから共有サーバへ同時に通信する数のみを制限します。したがって、同時にログイン可能なクライアント数に制限はありません(例えば同時ログイン「4」でも、同時に4名以上(実際には何名でも)ログイン可能です)。

「同時アクセス数」の制限となる対象について	同時アクセスの制限対象 右記処理時、共有サーバへアクセスが必要であり、「同時アクセス」制限の対象になります。	検索	公報検索、概念検索とも1検索処理実行単位に1アクセスとします。
		補助入力画面での検索	補助検索画面内の検索実行単位に1アクセスとします。
		一覧表取得/抄録取得	1画面表示単位に1アクセスとします。
		公報表示	1公報単位に1アクセスとします。 ※プロフェッショナル公報画面の場合、500件まで連続取得が可能ですが、この公報取得1件ごとに1アクセスを使用します。
	断続的にアクセス数を取りますが、このユーザが1アクセス分を占有するわけではなく公報取得の間に他のユーザのアクセス要求を処理します。		
「同時アクセス数」を上回るアクセスが発生した場合	同時アクセス数を上回った要求はお客様向け固有サーバ内の「共有サーバ待ち行列」に入り、アクセス要求の先着順に処理していきます。さらに「待ち行列」がすべて埋まった場合は、「サーバが混み合っています。しばらくしてから再度実行してください」というメッセージを表示します。		